



文化庁移転記念・琵琶湖疏水記念館特別展

「フィールドミュージアム琵琶湖疏水」 鴨川運河の誕生 ～京都・伏見をつないだ水の路～

鴨川運河は第1疏水のうち、鴨東運河の鴨川合流点から伏見区堀詰町までの全長約9kmの運河です。
大津から大阪までの舟運を開通するうえで、疏水を淀川に接続するための重要な区間でした。
本特別展では、「鴨川運河」の誕生から現在までの歴史を、貴重な資料とともにご紹介します。



伏見線石炭積卸し側線【昭和2(1927)年3月】

令和5年

【期間】6月20日(火)～12月24日(日)

入館無料

9時～17時(入館は16時30分まで)

※休館日:月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は翌平日)

【会場】琵琶湖疏水記念館

地下1階 第3展示室

京都市左京区南禅寺草川町17

展示
構成

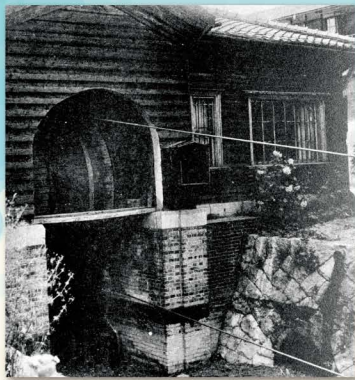
第1章 鴨川運河の建設
第2章 鴨川運河の水利用
第3章 変化する鴨川運河

期間中、鴨川運河に関する風景写真等の
展示を2階ギャラリーで行う予定です。





藤ノ森橋下流の風景
【昭和初期】



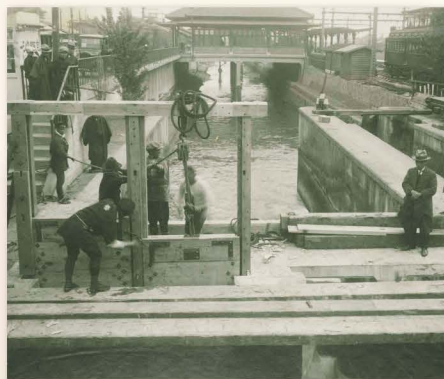
伏見インクライン・ドラム工場
【昭和15(1940)年頃】



孫橋放水所
【明治45(1912)年5月】



伏見新放水路の掘削工事
【大正14(1925)年頃】



三条閘門
【昭和初期】



東高瀬川の水運
【年代不明】



フィールドミュージアムとしての鴨川運河

鴨川運河には特徴ある多くの橋が架かっており、春には運河沿いを、桜を愛でながら歩くことができます。また、鴨川運河付近には、伏見稲荷大社や墨染発電所があります。

明治時代にタイムスリップ!?

疏水(そすい)とは、人工的につくられた水路のことで、琵琶湖疏水は琵琶湖の水を京都に運んでいます。琵琶湖疏水記念館では、京都近代化の舞台裏を分かりやすくご紹介。蹴上インクライン上を舟を載せた台車が行き来していた様子が分かるミニチュア模型のほか、蹴上・岡崎エリアのジオラマやアーカイブ映像の視聴コーナーなどもあります。先般、館内機能を更に充実しましたので、是非お越しください。



グッズスペースの新設



デジタル発信機能の集約



フィールドミュージアム情報の拡充



- 琵琶湖疏水記念館の入館料は無料です
- 休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は翌平日)
- ◎ 地下鉄東西線「蹴上駅」下車徒歩7分
- ◎ 市バス5系統「岡崎法勝寺町」下車徒歩4分